



川村敬一議員

防災対策

大規模地震に備えた対応

避難地・避難路の整備計画を作成

質問 防災対策について次の点を問う。

①北海道から東北の太平洋側で起きる可能性がある大規模地震に備え、政府では、中央防災会議の専門調査会が開かれている。本町はどのような対応を考えているか。

②新山田病院は、来年度の完成を目指し柳沢地区に建築中である。これに合わせ、安全で安心して入院できる山田病院にするため、柳沢地区の津波防潮堤の築造を移転に間に合うよう、県に積極的に要望すべきと考えるがどうか。

沼崎町長 ①大規模地震の防災対策の推進を目的に「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法」が施行された。本県の指定は、本町も含めた沿岸全市町村と一関市、藤沢町の十四市町村である。

この指定により、町では、避難地・避難路などの整備推進計画の早期作成、民間業者は、六カ月以内に避難対策計画を作成しなければならない。

②平成十八年度から工事が着手される。今後も県に対し積極的に要望する。

交通安全対策

早期整備に向け粘り強く働き掛け

豊間根新田橋と付近交差点の改良

質問 交通安全対策について次の点を問う。

①国道四十五号新田橋の拡幅改良と付近交差点（上豊間根方面への右折ライン）の改良について、国に対し、積極的に要望す

べきと考えるがどうか。

②県道宮古山田線の羽々の下線は、変則的な道路になっており、早期改善が叫ばれている。県に対し積極的に要望すべきと考えるがどうか。

町の考えを聞く



早急な改良が望まれる豊間根新田橋

沼崎町長

①毎年、三陸国道事務所へ要望している。当事務所でも沿岸部の重要な路線として位置付け、重要性は理解しているとのことである。今後も早期整備に向け、粘り強く働き掛けていく。

②用地問題が複雑に絡み合っているため進展しないのが実情である。当路線は、日常生活や産業活動において重要な路線であり、今後とも機会あるごとに県に働き掛ける。